

日本の国土構造を変える道路



発行所
日本工業経済新聞社
〒113-0022
東京都文京区千駄木3-36-11
電話 03(3822)9211
FAX 03(3824)7955
URL: www.nikoukei.co.jp

支局
さいたま・水戸・前橋・甲府
新潟・長野・松本・宇都宮
千葉・横浜

2013 圏央道特集号

日本の国土構造そのものを劇的に変える圏央道。国土交通省が現在鋭意整備を進め、供用区間も着実に増えているが、様々な面で経済発展の芽として期待されるこの圏央道は、関係自治体のみならず首都圏全体にインパクトを与える社会インフラとして、早期完成が待たれている。事業を所管促進する関東地方整備局の道路行政のトップ、池田豊人道路部長に圏央道が持つ多様なポテンシャルについて、聞いた。

―圏央道の供用区間が増えています。―
池田 総延長約300kmのうち、現時点で6割、約170kmが開通している。特にこの春に開通が相次ぎ、千葉県の木更津東ICから東金JCTまでの約43kmが4月27日に開通し、また神奈川についても、海老名ICから相模原愛川ICの約10kmが3月30日に、さらに東名高速の南側、寒川北ICから新湘南バイパスの茅ヶ崎JCTまでの約5kmが4月14日に、それぞれ開通した。

山ICから、神奈川に入って先日開通した相模原愛川ICまでの区間、寒川北ICから東名高速の海老名JCTまでの区間、これまでは区間が工事の最終段階に入っている。この中で茨城の稲敷ICから、利根川を渡って千葉県の神崎ICの区間については、東京の高尾山ICから神奈川に入って相模原愛川ICまでの区間は、本年度末までに開通する予定で、工事を鋭意進めている。残りの区間についても主力で工事の最終工程を進めている。放射状の高速道路との関係性でみると、東名から東関東道まで、近い将来の見通しで開通できる。これは、首都圏のみならず日本全体の国土構造に大きなインパクトを与える局面が、近いうちに訪れるであろうと考えている。

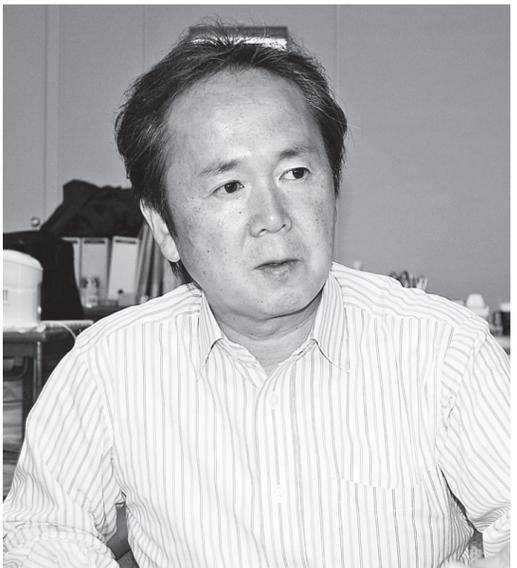
経済発展で多様な可能性

―整備が進むに伴い、沿線に与えるインパクトは、池田 埼玉県については、既に開通している区間



道を含んでの区間に、多くの企業立地が進んでいく。際立っているのが物流関係の施設、物流関係の方に話を聞くと、これまでには首都圏の湾岸地域が立地の中心だったが、圏央道が開通することによる立地のニーズが高まってきている。圏央道の場合、放射状の高速道路と結ばれているので、代替性もあるし、都心まである程度時間まで到達できるというところが、非常

に大きなメリット。また物流関係の場合は仕分け作業などで、1000人規模の雇用が必要となる。雇用の確保という意味においても、都心よりも優位性がある。都心直下地震に對し圏央道の果たす役割は、圏央道の内側が相当の被害を受けると想定されている。圏央道は都心部に比べて被害が小さいという想定になっている。緊急輸送の道路として、かなり使用できることを考えている。放射状の高速道路をつなぎ合わせることで、山梨、長野、群馬、栃木などから首都圏への支援のルートとして代替性を持つ。首都直下地震を想定した場合に信頼感、安心感のある機軸になる。また千葉の房総地域は津波の心配もあるが、木更津から成田空港に向けての圏央道は、房総が仮に津波被害を受けた時に、東北で行われたくしの備作戦のように、圏央道から海沿いへの支障物資の輸送という意味でも大きな役割がある。災害に強いというのはいかに代替性を持つかということ。放射状道路がつかないというところでは、大きなメリットがある。



国土交通省関東地方整備局道路部長

池田 豊人 (いけだ とよひと)
1986年東京大学大学院工学系研究科修、同年4月建設省(現国土交通省)入省。中部地方建設局静岡国道工事事務所長、道路局企画課道路計画調査官、大臣官房技術調査課技術企画官などを経て、11年7月から現職。香川県出身、51歳

圏央道概要

圏央道の正式名称は、一般国道468号首都圏中央連絡自動車道。神奈川県では、地区によって「高速横浜環状南線」「横浜湘南道路」「さがみ縦貫道路」の名称で整備が進められている。東京都心から半径40～60kmに位置し、神奈川県横浜市金沢区の釜利谷JCTを起点に、千葉県木更津市の木更津ICに至る総延長300kmに及ぶ高規格幹線道路。厚木、八王子、川越、つくば、成田などの主要都市を結び、分散型ネットワーク構造を形成する。東京外かく環状道路、東京湾アクアラインなどと連携することにより、慢性的な首都圏の交通渋滞の緩和をはじめ、首都圏の様々な機能の再編や産業活力の向上を図る上でも重要な役割を果たす。現在総延長300kmのうち、約170km区間が供用。企業立地などで劇的な変化をもたらしており、日本の国土構造そのものを変える社会インフラとして、東京外かく環状道路(外環道)、首都高速中央環状線(中央環状線)とともに、早期完成が期待される重要な道路。

関係自治体の声



県内産業に大きな役割／神奈川

株銀総合研究所理事 八木 正 幸

圏央道は、神奈川の南北交通の機能を劇的に強化する県民待望の路線である。慢性的渋滞に悩む東名高速の厚木IC周辺や、国道16号、同129号の混雑緩和が進むとともに、東名、中央、関越といった放射方向の高速道路が連結され、円滑な広域間移動がもたらされる。本県は県民の所得が他地域に比べ高く、移動時間節約による経済的メリットも相対的に大きい。また産業面では、こうした広域道路ネットワークの充実を見越して、相模原や県央地域の圏央道IC近接地で大型物流施設

の建設ラッシュが見られるほか、湘南、箱根地域などでは、入り込み観光客の増加に期待が寄せられている。さらに、今年2月、圏央道周辺9市2町を対象に、「さがみロボット産業特区」が国の地域活性化総合特区に指定され、生活支援ロボットの実証実験推進などを通じた関連企業の誘致・集積の途が拓かれた。今後の本県産業の競争力強化・高度化の誘い水としても、圏央道は大きな役割を担っている。



積極的に企業誘致推進／埼玉

桶川市長 小野 克 典

桶川市における圏央道の整備もいよいよ最終段階を迎え、日々、新たな姿を目の当たりにする市民の期待も大きく膨らんできております。また、圏央道に接続する上尾道路の整備も進み、広域幹線道路の結節点が市内に生まれることにより、桶川から日本全国、更には世界へと繋がる基盤が整いつつあります。本市ではこのチャンスを最大限に活かしたまちづくりを進めるため、新たに開設される

インターチェンジ周辺において積極的に企業誘致を進めております。また、桶川市には埼玉県内で唯一、二つの圏央道のインターチェンジが設置され、隣接する市街地には企業が必要とする人材が多数生活しております。今後、これらの魅力を積極的に発信し、更なる企業誘致を進めることにより『活気あふれる交流拠点都市 おけがわ』の形成を進めてまいります。



早期全線開通に期待／茨城

茨城県土木部長 立 藏 義 明

本県では、圏央道の県内区間約71kmのうち常磐道を挟んで約24kmが開通しており、沿線地域には、広域交通ネットワークの充実や都心から40km～60kmと近く地価も比較的安いという魅力から、古河市に日野自動車、阿見町に雪印乳業、稲敷市にコメリグループの物流拠点など、優良企業の進出が相次いでいます。また、開通が間近となった五霞町や坂東市などのIC周辺地域では、土地区画整理や工業団地などの開発計画が具体化してきています。残る区間約41kmの開通により東北道、東関

道と接続されますと、成田空港や鹿島港へのアクセスが格段に向上し、首都圏の新たな人やモノの流れが生まれることとなり、沿線地域への企業立地がますます加速することが期待されます。さらに、今後予想される首都直下地震の際に緊急輸送道路として極めて大きな役割を果たすことから、防災・減災の面でもミッショングリングの解消が急務となっています。300万県民を上げて、圏央道の早期全線開通を大いに期待しています。



地域発展の原動力に／千葉

茂原市長 田 中 豊 彦

長年、待ち望んでおりました圏央道(東金・茂原・木更津間)が開通したことは、本市にとって、正に歴史的なことであり、市民の皆様方と共に大きな喜びを感じております。この圏央道の開通により、本市と2つの国際空港(成田空港・羽田空港)がそれぞれ1時間弱で結ばれたことは、広域的な流通全般に大きな変革をもたらすものであり、企業誘致だけではなく、観光、医療など様々な分野において地域発展の原動力となるものと確信

しております。毎年7月に開催いたしております本市観光の最大イベントである「茂原七夕まつり」にも、圏央道開通により交通アクセスが向上したことで、より多くの方々に訪れていただけるものと期待しております。今後とも、圏央道を最大限活用し、活気と潤いに彩られた「魅力あるふるさと茂原」を市民の皆様とともに創り上げてまいりたいと思っております。

圏央道特集／建設現場レポート

騒音対策に創意工夫

大宮国道事務所 建設監督官 田中 晶悟



担当は、桶川北本IC、桶川IC区間で、高架橋区間とJR高崎線、旧中山道、国道17号のアンダーパスを含む掘削区間があります。掘削区間は延長が長く、電気、ガス等の既設インフラの再整備が必要となることから、5つの工区に分け、工区間で最適な工程となるよう力を注いでいます。

素早い地元対応を

大宮国道事務所 建設監督官 狩生 正彦



担当は、桶川北本IC、桶川IC(仮称)です。桶川北本ICでは現在、東北道方面から料金所へのランプ橋と本線の橋梁整備が進んでいます。桶川IC(仮称)では、料金所付近の盛土や料金所と本線や一般道のランプ部分で橋梁、ボックスなどの工事が進んでいます。

品質と安全に配慮

相武国道事務所 建設監督官 武井 桂樹



受け持っている工事区間は、相模川南詰から葉山島トンネル南坑口まで、主に相模原IC周辺の約3・4kmでまさに最盛期を迎えています。合計16工事があるため、大型車の搬入については毎週の工程会議で調整し、混乱が起きないようにしています。

密接調整で安全確保

横浜国道事務所 藤沢出張所長 山崎 茂



当出張所と監督官1名で担当している区間は、茅ヶ崎JCTから海老名南JCTまで。このうち茅ヶ崎JCTから寒川北ICまでが4月に開通。現在、東海道線幹線とJR相模線が交差している区間についてJR東海とJR東日本に委託し、架設工事を進めています。深夜の施工が中心となり、時間的制約の厳しい中で施工しています。

圏央道はすでに170km区間が供用されており、周辺エリアの経済発展に大きく貢献している。しかし無事開通式に漕ぎ着けるまでには、それぞれの施工現場で起こる様々な問題を熱意と創意工夫で克服し、工区内に完成させなければならない。関係する4県の出先事務所6カ所で施工中の現場を訪ねるとともに、発注者側として現場の最前線で指揮を執る、建設監督官らから話を聞いた。

建設現場の数だけ熱意と工夫がある



さがみ縦貫道路(交差2)1工区新設／鉄建建設・東急建設JV



下部と上部を一体で施工

横浜国道管内

■施工メモ

- ・工事概要／下部工、上部工
・工事場所／神奈川県寒川町倉見
・工期／2015年5月31日
・現場代理人／岩澤 裕史

事業主体の横浜国道事務所から委託されたJR東日本東京工務事務所が発注者。現場は相模原と交差している。施工は基礎杭から上部工までの広範囲にわたる。場所打杭工事の後、RCフーチング基礎を構築。そして鋼製橋脚(7基)を整備し、その上に鋼製の橋桁を架設する。

新幹線50K900付近さがみ縦貫道新設／名工建設・鉄建建設JV



深夜施工中心で周辺に配慮

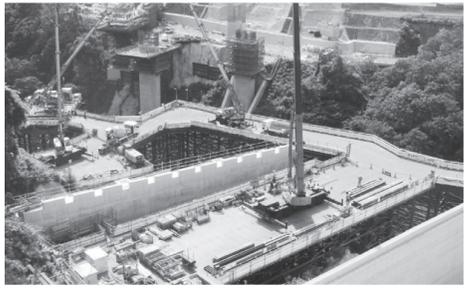
横浜国道管内

■施工メモ

- ・工事概要／新幹線上空桁架設工事
・工事場所／神奈川県寒川町倉見3794-1
・工期／2015年2月20日
・作業所所長／五代 恒憲

さがみ縦貫新設に伴い新幹線の新横浜・小田原間50km900m付近で交差する。この線道路橋の新設工事。東海道新幹線と相模原の直上を横断する。事業主体の横浜国道事務所から委託されたJR東海が発注者となっている。

さがみ縦貫城山ICランプ橋下部(その2)工事／大成建設株式会社



急峻な斜面切り開く難工事

相武国道管内

■施工メモ

- ・工事概要／A1橋台1基 P1橋脚1基
L型擁壁工1基 仮設工
・工事場所／神奈川県相模原市緑区小倉地先
・工期／2013年10月31日
・現場代理人／大丸 雄一郎

本線と津久井広域道路を結ぶ相模原インターチェンジには、アクセスする4本のランプ橋が計画されている。本工事は、ランプ橋と料金所を結ぶ取付橋の橋台と橋脚を施工している。

さがみ縦貫葉山島トンネル工事／大成建設株式会社



様々な工法で工期を確保

相武国道管内

■施工メモ

- ・工事概要／L2100m(上り線:L2100.5m、下り線:L2098.5m) 内空面積約67㎡
NATM発破工法
・工事場所／神奈川県相模原市緑区葉山島～小倉
・工期／2013年12月25日
・監理技術者／栗原 勝美

葉山島トンネルは相模原市緑区葉山島～小倉を結ぶ山岳トンネルで、延長2100mの上下線を同社が一括施工している。すでに本年5月30日に上り線が貫通し、下り線についても6月11日に貫通の運びとなった。

圏央道北本地区函渠その1工事／大成建設株式会社



市街地内での安全施工

大宮国道管内

■施工メモ

- ・工事概要／躯体延長約315m、特殊U型擁壁約246m、函渠約69m
・工事場所／埼玉県北本市二ツ家地先
・工期／2014年12月25日
・作業所長(現場代理人)／佐藤 忠嗣

現場は、JR高崎線から国道17号までの間に位置した国道東松山山崎線沿いの施工延長362mの半地下構造物を構築する工事。半地下構造物として特殊U型擁壁が246m、旧中山道下は函渠69mを整備している。

さがみ縦貫串川橋上部工事／川田建設株式会社



墜落防止に細心の注意

相武国道管内

■施工メモ

- ・工事概要／串川橋=PC3径間連続ラーメン箱桁橋 橋長305m
Cランプ橋=PC3径間連続ラーメン箱桁橋 橋長245.123m
・工事場所／神奈川県相模原市緑区小倉地先
・工期／2014年3月25日
・監理技術者／大谷 満

串川を渡河する区間は、同インターチェンジにアクセスするランプ橋が3橋計画されており、本線の串川橋梁のほか、A・Cのランプ橋の工事にも同時進行している。

圏央道特集／建設現場レポート

最後まで安全徹底を

千葉県道事務所
建設監督官 **小川 渉**



当事務所が担当する圏央道の整備区間は、大塚JCT(仮称)～木更津JCT間で、今年4月27日に東金JCT、木更津東JCT間42.9kmが開通の運びとなったことから、大塚JCT(仮称)～松尾橋JCT間18.5kmを残すのみとなりました。圏央道は千葉県にとっての骨格道路になりますので、大塚、松尾橋間も早急の工事着手に向け、今年度から用地買収に入っていく予定です。今回開通した区間には複数のトン

基本に忠実な安全対策

常総国道事務所
建設監督官 **吉永 裕康**



(仮)猿島岩井ICからつくばICまで約19.2kmで工事を進めています。工事区間内は、軟弱地盤の箇所が多いため、地盤改良の検討を行っています。また、工事業者から提案された新技術を駆使しています。工事現場の安全対策では、近くに通学路があれば、通学時間帯は工事車両の進入をストップさせる措置を実施しています。また、交通整理員を配置して資機材搬入の際の事故を防いでいます。

土質改良し盛土へ再利用

常総国道事務所
建設監督官 **永来 良吾**



2013年度内の開通に向けて、稲敷ICから(仮)神崎ICまでの約10.5kmにおいて鋭意工事を進めています。そのうち約3kmが橋梁の区間です。その橋梁についても、ほぼ完成しています。工事では、土工区間の切土で発生した砂質系や粘性の土について、石灰セメントを混ぜて改良し安定処理を行った後で、盛土の現場へ再利用しています。

様々な近隣対策も

北首都国道事務所
杉戸国道出張所長 **越川 裕**



担当区間は、白岡富浦ICから茨城県境の中川を渡ったところまでの埼玉区間の14.4kmです。一部供用している区間あり。すべて高架構造で、東北新幹線、東北本線、東武日光線の鉄道3線を横断しています。安全対策では、ひと月に一回、出張所の監督職員と施工会社による安全協議会を開き、情報伝達を行うほか、現場を決めて全社で安全パトロール点検を行います。パトロール現場では下請けの職長も加わって点検、各社からの意見を頂きながら現場での安全意識の向上に取組んでいます。

新技術で工期短縮

北首都国道事務所
三郷国道出張所長 **鈴木 彰**



現場で、安全対策や現場管理など参加者から意見をもらい、レベルアップに努めています。新技術では、施工期間の短縮へ、地盤改良(セメント)を入れて攪拌する際、通常1軸で行っていたのを2軸で行うなど採用しました。近隣の環境対策では、盛土区間など土砂運搬を伴う部分では、高さ3mの防塵ネットを民地との境に設置して周辺環境へ配慮しています。

慶作前地区高架橋下部その6工事／共立建設株式会社

市街地における安全取組



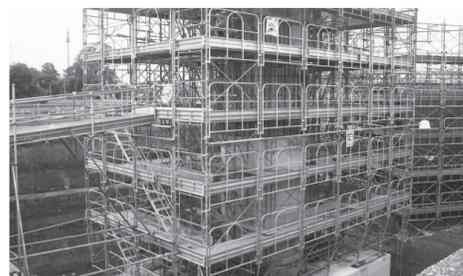
現場周辺にはホームセンターやプロパンガススタンドなどの商業施設をはじめとする大型駐車場があるほか、国道4号とも隣接し、買い物客や仕事で通っている数多くの一般客と近接して工事を進めているため、特に安全対策に配慮している。現場に入る工事車両は、交通整理員を配置して左折を厳守させている。「現場の事故は、瞬時に信用を失う。信頼を回復させるには途方も無い時間がかかると、何事もなく当たり前の心構えで施工している。

現場周辺にはホームセンターやプロパンガススタンドなどの商業施設をはじめとする大型駐車場があるほか、国道4号とも隣接し、買い物客や仕事で通っている数多くの一般客と近接して工事を進めているため、特に安全対策に配慮している。現場に入る工事車両は、交通整理員を配置して左折を厳守させている。「現場の事故は、瞬時に信用を失う。信頼を回復させるには途方も無い時間がかかると、何事もなく当たり前の心構えで施工している。

現場周辺にはホームセンターやプロパンガススタンドなどの商業施設をはじめとする大型駐車場があるほか、国道4号とも隣接し、買い物客や仕事で通っている数多くの一般客と近接して工事を進めているため、特に安全対策に配慮している。現場に入る工事車両は、交通整理員を配置して左折を厳守させている。「現場の事故は、瞬時に信用を失う。信頼を回復させるには途方も無い時間がかかると、何事もなく当たり前の心構えで施工している。

圏央道桶川インターCランプ橋下部工事／株式会社安藤・間

月2回を特別安全日に



1日と15日は、特別安全日としており、朝礼から支店長の訓示や工事安全についての話がある。ひと月に2回ということ、月の半ばで気を引き締めることで、いい緊張がある。毎月2回、本社から安全担当者も参加した現場パトロールが行われる。慣れが怖い現場で、一人ひとりの気持ちも引き締まる。周辺住民に、現場を理解してもらおうと、屋根ベンチを設けた見守り台を設置している。散歩の途中で見守り台の人にも、ちょっとした触れ合いの場になっている。

小貝川橋下部その1工事／谷原建設株式会社

兩岸下部工を短期間で施工



この野球場と隣のサッカー場は、子ども達が土日に頻りに利用。そのため前の通りでは工事車両を25kmに速度制限。横断作業の際は一般車両との接触を避けるため交通整理員を付けた。そのほか3業者が同じ道路を使用した際は、通路をお互いが干渉しないよう連絡調整した。やはり当たり前のことを当たり前にやるのが大切。例えば少しでも安全帯を怠った時に限って足を滑らせる。そういうことが無いよう監視した。

利根川高架橋上部その1工事／巴・東網特定建設JV

当たり前を心掛けた安全



全長835m(橋脚12本、うち河川区域内が10本)の利根川高架橋上部工事を担当。月に1回(計7回)、組立てた橋桁を河川上に約120m送出す作業があるが、今日は偶然にも、第2回目送出し架設の日にあたる。全ての作業が高さ15mの高所のため、墜落事故や落下防止ネット、資材の飛散防止に努め、作業員にはハネス型の2丁掛安全帯を使用させる指導を徹底。強風対策としては、防風灯が点いたり、ブザーが鳴るデジタル風速計を設置して作業の中止を判断する。クレーン車も強風になると折れたらんで低くし安全対策を講じている。作業現場をきれいに整理し、片付けると安全につながる。当たり前のことをやることで事故防止に直結する」と確信。朝礼では全員集めて危険予知活動やその日の作業手順を確認しながら現場に入る。

市原南地区改良その12工事／株式会社堀建設

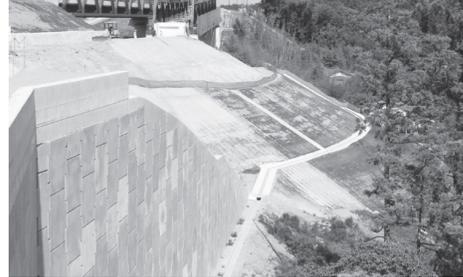
狭い作業ヤードで大規模盛土



本線区間の大規模な盛土工事がメインで、このほか切土、地盤改良、調整池等の工事を担当している。盛土工事は、他の現場で発生する土砂を受け入れる際に、搬入、締め固め作業を数カ所で行っていたほか、大和田第一橋の上部工事と同じエリア内で展開されていたことなどから、土砂の運搬管理、大型重機の安全管理に細心の注意を払い、運搬車両と重機の事故防止に努めた。また盛土だけでなく、途中、排水構造物の築造が入る作業工程では、両工事が円滑に安全に進むよう、調整に慎重に対応した。盛土では土砂の含水率が工期と品質を左右するため、本年1月の降雪では除雪作業を実施し作業が止まらないよう工夫し、作業ヤードが狭く厳しい作業条件の中でも工期を確保した。工事最終仕上げ段階に入っており、不入橋の橋脚廻りの切盛土、道路の機能補償工事を行っている。

市原南地区改良その14工事／京成建設株式会社

擁壁築造で安全と品質確保

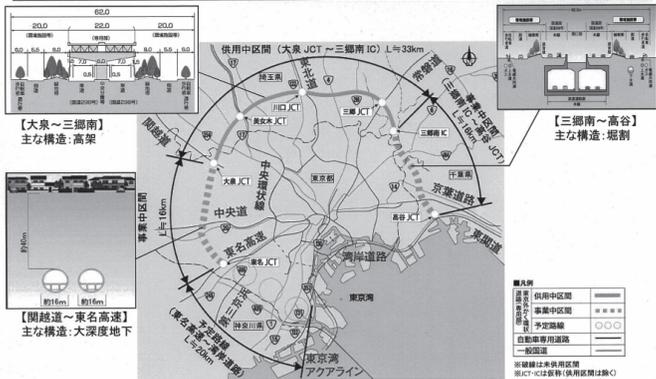


高瀬サービエリア内の市道のテールアルメ築造と盛土、一部本線区間の切盛土、路床、法面関係工事を手がけており、すでに本線部分の市道のテールアルメなど重要な工事が完了。Bランプのテールアルメ、機能補償道路の掘削、階段に移っている。メイン工事の市道のテールアルメは高さ15mに及ぶ構造物で、壁体の傾斜測定、盛土材の含水率測定、盛土締固め密度測定など品質管理に十分気を配った。施工に当たっては、高所作業による転落防止に万全の体制をとった。サービエリア内の工事は最盛期には力所で現場が動いていた。このため発注機関との週に一度の工程会議のほか、地元対応の一環として、関係する施工会社による運搬車両の台数や工事ルートなどの打ち合わせも平行して実施し、地元に影響が出ないように配慮した。

スィスイ首都圏、3環状のいま

東京外かく環状道路

東京外かく環状道路は、都心から約15kmの圏域を環状に連絡する延長約85kmの道路
首都圏の渋滞緩和、環境改善や円滑な交通ネットワークを実現する上で重要な路線



首都圏3環状道路計画とその状況

■圏央道整備に対する地域の期待の声



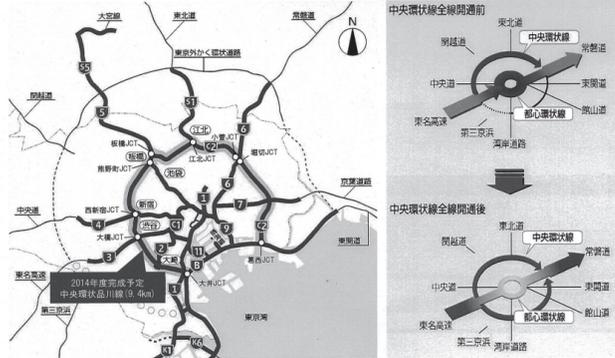
地域経済と雇用の創出も

3環状(圏央道、外環道、中央環状線)は都心部の慢性的な交通渋滞を緩和するだけでなく、首都圏の経済活動を暮らしを支える社会資本として、重要な役割を果たす。大都市圏における環状道路の役割は、通過交通の抑制と分散導入効果、地域間移動の非常時の迂回機能、などがあがる。諸外国の主要都市における整備状況をみると、北京やソウルは既に環状道路を完成させている。これに対して首都圏(1都3県)は、計画延長525kmのうち、供用延長は309km、整備率59% (2013年4月現在)にとどまっている。首都圏の渋滞は深刻だ。現在、都心を走行する交通

のうち約6割が通過交通とされている。また都心の一般道路を走る車の平均速度は16kmで、全国平均の半分以下。乗車時間の約6割を渋滞などに費やしており、全国平均の1.6倍となっている。圏央道の内側の首都圏に人口が集中する傾向は強まっている。また東京湾、川崎湾、横浜湾をはじめ、広域的な物流拠点も集中。3環状整備促進に対する地域の声は多く、その内容も企業立地や観光、医療、消防関係と幅が広い。加えて首都直下地震への備えという観点からも、1日も早い新たなネットワークの完成が待たれている。

首都高速中央環状線

首都高速中央環状線は、都心から約8kmの圏域を環状に連絡する延長約47kmの道路
新宿、渋谷、池袋などの副都心やベイエリア、羽田空港や東京港等の国際旅客、物流施設を連絡する道路



一般国道468号首都圏中央連絡自動車道

■圏央道は、都心から約40～60kmの圏域を環状に連絡する延長約300kmの道路
・横浜、八王子、つくば、成田などの中核都市及び成田空港や横浜港等の国際旅客・物流施設を連絡する道路



13年度予算を踏まえた見直し示す

関東地方整備局は6月、「2013年度予算を踏まえた道路事業の見直し」について公表した。用地取得に一定の進捗が見られるなど、完

成に向けた事業実施環境が整った事業について、開通の見直しを示している。このうち、3環状関係の見直しは次のとおり。

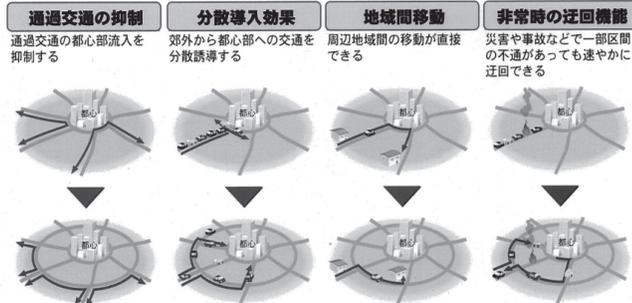
関東地整 道路事業

開通予定	路線名	箇所名	事業規模
2013年度	国道468号	首都圏中央連絡自動車道(相模原愛川IC～高尾山IC(相模原ICは14年度))	14.7千sq
2013年度	国道468号	首都圏中央連絡自動車道(稲敷IC～(仮称)神崎IC)	10.5千sq
2014年度	国道468号	首都圏中央連絡自動車道(寒川北IC～海老名南JCT)	2.8千sq
2014年度※	国道468号	首都圏中央連絡自動車道(桶川北IC～白岡菅蒲IC)	10.8千sq
2014年度	国道468号	首都圏中央連絡自動車道(久喜白岡JCT～(仮称)五霞IC)	12.7千sq
2014年度	国道468号	首都圏中央連絡自動車道((仮称)五霞IC～(仮称)境IC)	6.9千sq
2014年度※	国道468号	首都圏中央連絡自動車道((仮称)神崎IC～(仮称)大栗JCT)	10.0千sq
2015年度※	国道468号	首都圏中央連絡自動車道((仮称)境IC～つくば中央IC)	28.4千sq
2015年度	国道298号	東京外かく環状道路(千葉県区間)	11.4千sq

※土地収用法に基づく手続きによる用地取得などが速やかに完了する場合

環状道路の役割

大都市圏の環状道路は、都心へ集中する幹線道路の交通のうち都心を通り抜ける車の都心部への流入を抑制させ、都心の交通混雑を緩和する役割や、郊外から都心部への交通を分散導入する役割など、集積が著しい都市の成長に不可欠な交通機能を提供



物流の信頼性がアップ

入札ネット+α

7月31日までの無料体験実施中!
20年近い情報を検索できるのは入札ネット+αだけです。
次の手順でログイン後、「圏央道」で検索してみてください。
圧倒的な情報量をご体験ください。

お試し手順

- ① <http://www.nikoukei.co.jp> にアクセス
- ② 会員ID欄に「a500024500」を入力
- ③ パスワード欄に「20130627」を入力
- ④ 「ログイン」ボタンをクリックします。
- ⑤ ログイン後、「入札結果」→「項目指定で探す」をクリックして
- ⑥ 工事件名に「圏央道」を入力
- ⑦ 「検索」ボタンをクリックすれば発注機関を跨いで関連案件の一覧が一発表示されます。

※検索条件で入札日を変更すれば更に昔の案件も検索できます。

問い合わせ先
日本工業経済新聞社 本社
〒113-0022 東京都文京区千駄木3-36-11 プラネットアイ4階
TEL:03-3822-9211 FAX:03-3824-7955



入札の公告・入札予定・入札結果の情報取得からサイトアップまでの時間を最大限短縮・現場からの情報を即WEB上に掲載しています。

1地域月額わずか
8400円
(税込)

■地区別情報量

地域	公告		予定		結果	
	期間	件数	期間	件数	期間	件数
国関係	1994/07/01～	160,397	1994/04/01～	157,565	1994/04/01～	389,452
茨城	1998/04/01～	28,401	1998/04/01～	234,427	1994/04/08～	374,592
栃木	1998/05/01～	18,203	1998/04/03～	197,739	1998/04/01～	230,519
群馬	1998/04/01～	15,142	1998/04/01～	163,906	1994/04/01～	268,856
埼玉	1998/04/01～	46,476	1998/04/01～	286,950	1994/04/01～	495,419
千葉	1997/01/10～	61,827	1996/05/08～	220,149	1996/04/01～	369,704
東京	1994/04/01～	271,421	1994/04/07～	151,155	1994/04/01～	546,748
神奈川	1998/04/01～	100,594	1998/04/01～	44,686	1994/04/01～	356,849
新潟	2000/04/24～	49,658	2000/03/30～	190,030	2000/03/28～	261,643
山梨	1998/04/01～	15,036	1998/04/01～	68,910	1994/04/01～	187,304
長野	1998/04/01～	85,081	1998/03/03～	207,849	1997/04/01～	368,266

入札ネット+α 入会申込書

会社名	
所在地	
電話番号	FAX番号
ご担当者	メールアドレス
お申し込み地域(※チェックを入れて下さい)	
<input type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 埼玉 <input type="checkbox"/> 千葉 <input type="checkbox"/> 神奈川 <input type="checkbox"/> 茨城 <input type="checkbox"/> 群馬 <input type="checkbox"/> 栃木 <input type="checkbox"/> 山梨 <input type="checkbox"/> 長野 <input type="checkbox"/> 新潟	
ご契約期間	<input type="checkbox"/> 6か月 <input type="checkbox"/> 12か月 (※ご契約は半年または年間契約となります)
お申し込みは FAX 0120-24-7955へ	